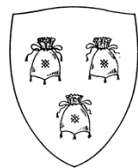


ひかり

2023年7月号



Matthew

日本聖公会 三光教会

第715号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けばどんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」 (マタイによる福音書: 13:31)

「祈りびと」として生きる

執事

ヤコブ萩原

おぎわら

みつる

わたしが聖職に志願しようと考えてようになった要因というのは、いくつかがことが重なって、時が満ちてそうだったのではないかと、と今思い返すとそのようにいうことができます。聖職に志願するとき、わたしはこれから「祈りびと」として生きていきたいと考えている、とお話したことがありますが。そのときに話した内容について、少しご紹介したいと思っています。

私の妻は卵巣がんの末期で聖路加国際病院の緩和ケア病棟に入院し、死をむかえました。入院したある時、築地がんセンターでの主治医の先生がお見舞いに来てくださったことがありました。その先生が、お見舞いのことについて後日ご自身のブログにこのように書かれていました。

「都内のホスピスに入院した患者さんのところへお見舞いに行ってきました。彼女は卵巣がん、わたしの病院で化学療法をやっておりましたが、だんだん体力がな

くなってきたため入院となりました。病院を訪問すると、『ブラックジャックが来てくれた』と喜んでくれましたが、こちらは『病気を治すことのできないブラックジャック』です。そんなに偉いものではないかもしれませんが、むしろこちらが勇気づけられたり、色んなことを教えてもらったりしています。彼女は病状が進行しても決してつらい表情をみせず、いつも明るい素敵な笑顔を見せてくれました。『なんで病気になったのだろう、なんて後ろ向きに考えてもしようがないもんね。5月の連休には旅行に行きたい。』などといったりしていました。

自分は彼女のような状況になつたら、あのように笑顔でいられるのだろうか、病気に對する向き合い方について教えられる。握手して、『今後も何かありましたら、いつでも相談してください』といった言葉を出しましたが、一つだけ言い忘れたことがありました。『いつまでも、あなたの主治医です。』何もしないけれど、祈ることならできます。少しでもお元気になるよう祈っています。このブログを見て、わたしが

思ったのは現在の最先端の医療でさえ、手の施しようもなく、なすすべのない現実が変わらずにある。そして、お医者さんでさえ最後にできることは、「私はいつまでもあなたの主治医です」と言いつて寄り添い、祈ることなのだ。本当にどうしようもない困難に直面したときにできることは、ともに寄り添い、祈ることなのではないかと。私が生かされ、何らかの使命を与えられているとするならば、同じような苦しみを味わう人と共に祈りたい、と勧話でお話ししました。

それから今に至るまで、わたしは「祈りびと」として生きることにについて、ずっと考えています。わたしたちは生きています、理不尽な辛い現実には直面します。そのような自分の力ではどうにもならない出来事に対して、答えを出すのではなく、共に嘆き、共に叫び、共に苦しみながらも、わたしたちの計算や予測を超えたものの訪れを、共にその場において、待つ。これらのことが「祈りびと」として生きるようになる。そしてそれは聖職として生きることでもあるとわたしは考えています。

7月～9月の予定

◆7月

16日(日) 聖霊降臨後第7主日
22日(土) マグダラの聖マリヤ日
23日(日) 聖霊降臨後第8主日
25日(火) 使徒聖ヤコブ日
26日(水) おとめ聖マリヤの母アンナ
30日(日) 聖霊降臨後第9主日

◆8月

6日(日) 主イエス変容の日
7日(月) 8月逝去者記念礼拝
8日(火) 司祭修道士ドミニコ
10日(木) 殉教者執事ローレンス
11日(金) 修院長おとめクララ2
13日(日) 聖霊降臨後第11主日
15日(火) 主の母聖マリヤ日
18日(金) ヘレナ
20日(日) 聖霊降臨後第12主日
24日(木) 使徒聖バルトロマイ日
27日(日) 聖霊降臨後第12主日
28日(月) 主教教会博士オーガスチン

◆9月

3日(日) 聖霊降臨後第14主日
4日(月) 9月逝去者記念礼拝
8日(金) おとめ聖マリヤの誕生日
10日(日) 聖霊降臨後第15主日
13日(水) 殉教者主教シブリアン
14日(木) 聖十字架日
17日(日) 聖霊降臨後第16主日

2023年

「沖縄の旅」に参加して

関塚晴美

私は、日本聖公会正義と平和委員会沖縄プロジェクトと沖縄教区による「沖縄週間／沖縄の旅」に初めて参加した(6/23～6/25)。沖縄教区の上原主教様によるガイドのもと、詳細なお話を伺いながら沖縄の地に立ち空気を吸い、大変有意義な三日間を過ごさせて頂いた。

初日、沖縄戦の最後の激戦地の一つとなった荒崎海岸にて開会の祈りと平和の祈りをお捧げしたのち、魂魄(こんぱく)の塔、平和祈念公園・資料館、平和の礎(いしじ)を訪れた。

二日目、三原聖ヘテロ聖パウロ教会にて映画「戦場ぬ童(いくさばぬわらび)」を鑑賞後、浦添城址、前田高地平和の碑、午後にチビチリガマ、シムクガマを訪れた。

最終日は三原聖ヘテロ聖パウロ教会にて主日礼拝を共にお捧げした。上原主教様のお話は沖縄戦

の悲惨さ、終戦後今も続く県民の苦しみ、基地問題等多岐にわたったが、特に「戦争とはどんなものか想像力を働かせて下さい。集団自決を選んだ人々、ガマに逃げ込んだ人々のことを想像して下さい」という想像力も神さまからの賜物です」というお言葉が心に残る。

戦争は絶対に起こしてはならない。多くの日本人が、防衛力増強を求める今、対話による平和を強く願う。

聖書知ったかぶり

藤田新一朗

遅まきながら新しい聖書、聖書協会共同訳聖書(「2018年版」)を開いてみた。私がまず開いたのは有名な山上の垂訓の冒頭マタイによる福音書第5章3節。

「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」「新共同訳聖書(「1987年版」)と変わらず、慣れ親しんだ一節のままです。ちなみに私が物心ついたころに用いられていた聖書(「1967年版」)でも「こころの貧しい人たちは、さいわいであ

る。天国は彼らのものである。」「と翻訳されているので、あまり変化は感じられません。

しかし、1967年版と1987年版聖書の間に発刊された、聖書協会共同訳聖書「1987年版聖書」ではこの箇所が「ただ神により頼む人々は、幸いだ。天の国はその人たちのものだから。」「と翻訳されており、「こころの貧しい人々」が使われていません。

「ただ神により頼む人々」とは、ずいぶんと大胆な翻訳に感じるかもしれませんが、スタディバイブル(2014年日本聖書協会)には「自己の肉体的貧しさに気付いている人々の意味」との注釈がつけられています。また、古くなりますが1966年発刊のフランシスコ会聖書研究所訳聖書にも「自分の肉体的貧しさを知らない人は神にたよろうとしないので神の恵みが得られない」という注釈がついているので、まるつきりデタラメな翻訳とも言えません。

でも、なぜ1987年版聖書は慣れ親しんだ「こころの貧しい人々」を用いなかったのでしょうか。実はこの聖書は、動的等価法という他の聖書とは異なる姿勢にもとづいて翻訳されたそうです。動的

等価法とは「言語間の翻訳に関し
て、その地域の文化と言語習慣に
添って理解しやすい形で翻訳する」
とこう理論です。「When in Rome,
do as the Romans do」を「ローマ
にいる時はローマ人のようにふる
まえ」ではなく、日本のことわざ
を当てはめて「郷に入れば郷に従
え」と翻訳するようなものでしょ
うか。

実際、1978年版聖書の序文には
「共同訳聖書の志すところは、
(中略) 人類共通の宝である聖書
を、現代の平易な日本語に翻訳す
るところであります。したがって、
教会の典礼や礼拝に用いることを
第一の目的にしたものではなく、
従来の聖書にとつて代わるべきも
のではありません。」と記されて
います。簡単に言ってしまうと、
長年聖書に親しんだ人ではなく、
初めて読む人のためのわかりやす
い聖書を目指したと言っているで
しょう。

しかし、「わかりやすさ」を
優先するばかり、あまりにも教
会のそれまでの伝統を無視し、親
しまれている言葉、人名、地名を
軽視したため、教会の側に受け入
れられなかったそうです。

ちなみに、2018年版聖書の序文

には「礼拝で用いることを主要な
目的とする。そのため、礼拝での
朗読にふさわしい、格調高く美し
い日本語を目指す」と記されて
おり、わかり易さは二の次にされ
ています。「心の貧しい」が格
調高く美しい日本語かどうかはわ
かりませんが、

残念ながら、わかりやすさを
優先している(はずの)動的等価
理論に基づいて翻訳された日本語
聖書は1978年版聖書以外に発刊さ
れずにいるようなので、最後に動
的等価法理論以上にわかり易さに
拘っている「リビングバイブル
新約」(いのちのことば社2016
年版、原書は英語、Wikipediaで
は「意訳」とされています。)で
は件の箇所はどのように翻訳され
ているかを見てみました。

「心の貧しさを知る謙虚な人は幸
いです。神の国はそういう人とえ
られるからです。」

残念ながら(？)日本の教会
には「貧しい」という言葉が頭に
こびりついていうようです。

(この文章に執筆にあたって
「バイブルロード 聖書の通って
きた道」(佐藤邦宏牧師(ルーテ
ル教会)著、教文館)を参考にし
ました。)



教会に実る豊かな葡萄



祭壇を飾る教会の庭の花



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が
少なくなりました。土曜日の午
前10時から1時間程ご奉仕くだ
さい。ご協力いただける方は直
接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ
礼拝様式に馴れない方は椅子に
お掛けになったままで結構で
す。
●礼拝中の献金は、信施金とし
て伝道のために献げられるも
のです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か
案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

- 主日礼拝
午前 7:30 聖餐式
午前 10:30 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝
- 平日礼拝
毎朝 6:30 から
月、水、金は朝の礼拝、
火、木、土は聖餐式